

3号機 燃料取り出しの状況について

2020年2月27日

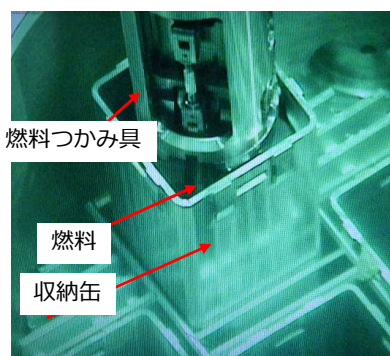
TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

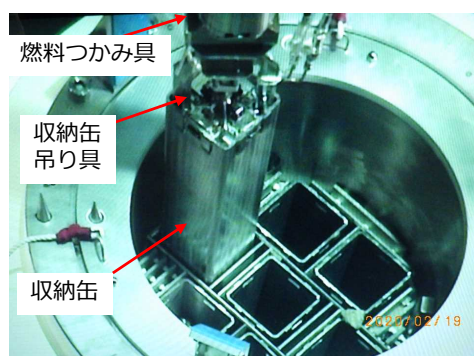
1. 燃料取り出しの状況

TEPCO

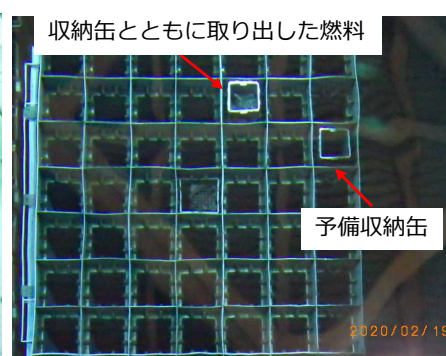
- 2020年2月14日に、全ての燃料のハンドルの確認が完了した（ハンドル変形を確認した燃料は計14体）。
- 2020年2月15日に、共用プールの燃料輸送容器内において1体の燃料が収納缶から外れない事象が発生したが、2月19日に収納缶とともに取り出し、共用プール収納缶ラックに貯蔵している。
- 2020年2月26日時点で、計84体の燃料の取り出しを完了している。



引っ掛かりの状況



収納缶とともに取り出した状況



収納缶ラックへの貯蔵状況

【参考】収納缶の引っ掛かりについて

<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2/15 共用プールにて、構内輸送容器からラックへ燃料取り出しを実施していたところ、1体の燃料について収納缶と外れない事象が発生（燃料を吊り上げると収納缶も一緒に吊り上がる）それ以外の6体の燃料はプール内ラックに取り出しを完了。 2/16 収納缶の引っ掛かりに対し治具による解除を試みたが解除できなかった。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>収納缶断面図</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>通常時の取り出し状況</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>引っ掛かりの状況</p> </div> </div>
<p>原因</p>	<p>✓ 構内輸送容器による燃料輸送時にチャンネルボックスの外表面と収納缶内表面間に瓦礫が挟まることにより燃料吊り上げ時の抵抗が増加したと推定。</p>
<p>対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 配備済の収納缶用の吊り治具を用いて、収納缶ごと専用のラックに収納する。 ✓ 吊り治具の使用にあたり、FHMのインターロック設定の確認と事前の取り出し訓練を行う。 ✓ 燃料を収納缶ごとラックへ取り出し後、予備の収納缶を構内輸送容器に設置し、燃料取り出しを継続
<p>備考</p>	<p>燃料は構内輸送容器に装填していること、構内輸送容器は転倒防止台座に固定していることから外部への影響は無い。</p>

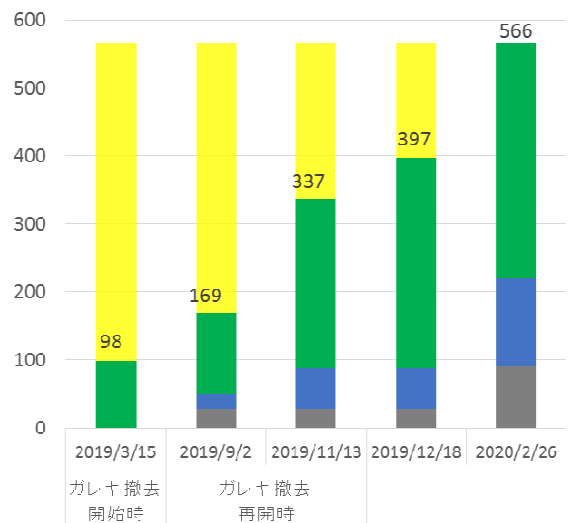
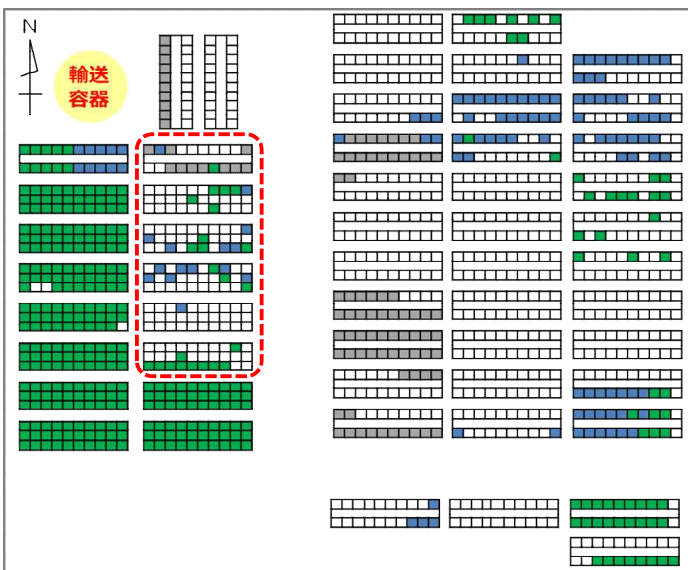
2

2. ガレキ撤去状況

■ 以下に示す通り、燃料上部についてガレキの撤去を進めている。

- ▶ ガレキ撤去により**全ての燃料のハンドルを確認** 566体/566体（前回※から+119体）
そのうちハンドル変形を確認した燃料は、14体（前回※から+1体。次頁参照）

※2020年1月30日 廃炉・汚染水対策チーム会合 事務局会議



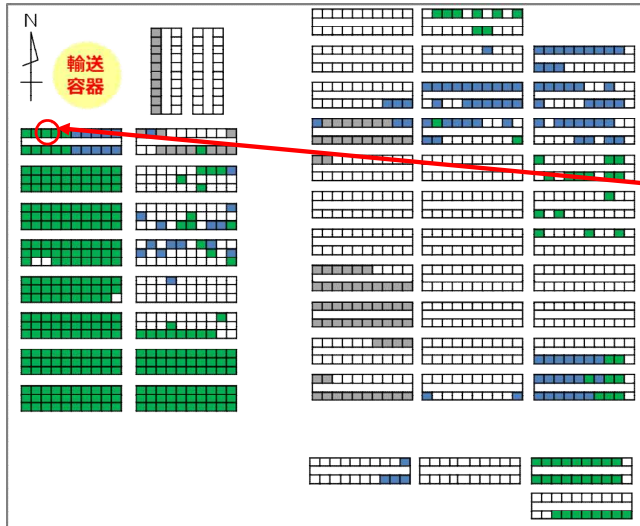
凡例：

- : 燃料取り出し済
- : ガレキ撤去完了=燃料取り出しが可能な状態
- : ガレキ撤去中
- : ガレキ撤去未実施
- : 燃料が入っていないラック
- : 落下した燃料交換機, コンクリートハッチがあったエリア

3

3. ガレキ撤去進捗に伴うハンドル変形の確認

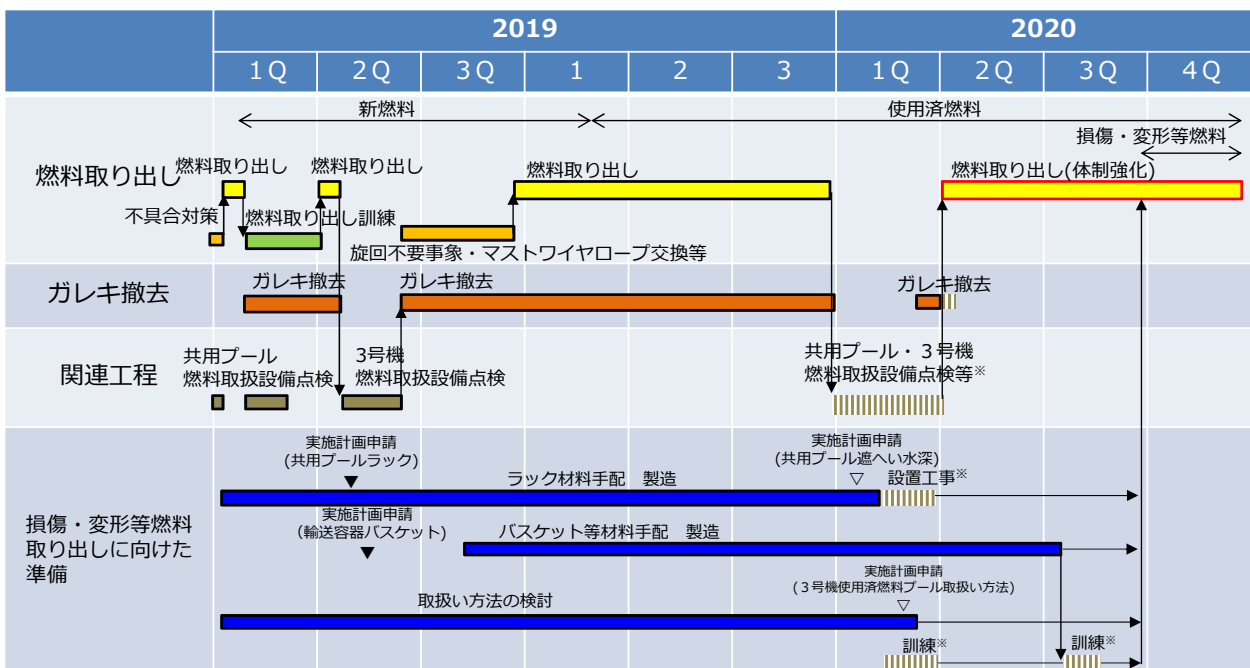
- 2月4日に使用済燃料プール内のガレキ撤去作業中に新たに1体についてハンドル変形を確認した（ハンドル変形を確認した燃料：計14体）。
- 新たに変形を確認した燃料については、外部環境に影響するような損傷はなく、問題なく取り出しできるものと評価している。



新たに確認したハンドル変形燃料

4. 今後の取り出し計画（スケジュール）

- ガレキ撤去を先行で進めたこと、並びにガレキ撤去完了後に体制を強化することにより、2020年度末に燃料取り出し完了の見込み。
- 引き続き、周辺環境のダスト濃度を監視しながら安全を最優先に作業を進めていく。



※工程調整中

- 3号機から取り出した燃料のうち新燃料1体について、共用プールにて水中カメラを用い、燃料棒等に異常が無い事の外観点検を2020年3月に実施する予定。
- なお、使用済燃料の外観点検は2020年度の下期に実施予定。

